

2013年度／2014年度 日本社会医学会 総会 議事録

2014年7月13日（日） 名古屋市千種区不老町 名古屋大学・IB電子情報館

I. 山田裕一理事長挨拶 柴田英治学会長挨拶。

出席者53名、委任状131名、計184名で、成立。

第55回日本社会医学会総会には、183名が参加した。

議長に、柴田英治学会長を選出した。

II. 議事

1. 物故会員 2名（上畑 恵宣さま・東田 敏夫さま）に黙祷をささげた。黙祷に先立ち、加美嘉史会員と平田衛会員より、故人の経歴の紹介があった。

2. 審議事項

1) 2013年度会務報告

- ・第54回日本社会医学会総会は、星 且二学会長（首都大学東京）、櫻井尚子副学会長（慈恵会医大）が担当し、2013年7月6日（土）～7日（日）に、首都大学東京にて開催され、207名の参加で大成功した。メインテーマを、「ひとり一人の"夢と想い"を重視する住民の健康維持増進」として、基調講演や教育講演、それに2つの意義あるシンポジウムが開かれた。
- ・ 理事会は年度途中で2回開催し、次期開催地や会則の改正を審議した。
- ・ 機関誌『社会医学研究』31巻1号&2号を発行した（星且二編集委員長）。
- ・ ニュースレターの発行 計3回
- ・ ホームページの充実（すべての講演集・社会医学研究・レターの収録、第54回および第55回総会の案内、英語版の制作）。
- ・ 会員拡大の前進 44名の入会と、退会43名（うち物故者2名）。2013年度長期未納者の除籍数7名（2011年度分から昨年度まですべて未納の者4名の除籍を提案） 差引6名の減少 現会員総数437名（一般345名、学生44名、名誉42名）
- ・ 倫理審査委員会は、受け入れ可能であるが、2013年度は、申請がなかった。

2) 2014年度会務予定

- ・ 第55回総会を現在、開催中。183名の参加。（特別講演、学会長講演、招待講演2題、教育講演4題、シンポジウム3件、ミニシンポジウム3件の計30演題と、一般演題60題の合計90演題で、充実した内容となった）。
- ・ 第56回総会 九州にて開催（学会長：久留米大学・石竹達也教授、事務局長：九州社医研・田村昭彦理事）2015年7月11日（土）～12日（日）に、久留米大学にて開催。
- ・ 理事会の開催（年度途中で2回を計画、総会時と合わせ、計3回）
- ・ レター発行（3回発行を予定）
- ・ 機関誌「社会医学研究」の2回発行
- ・ 英文ホームページの充実（各国の社会医学会のHPとのリンクを計画）
- ・ 倫理審査委員会の活動

3) 2013年度決算と2014年度予算（別紙のとおり）

監事2名より、監査結果が報告された。

機関誌が2号発行されるので、同じ巻の場合、頁を1号と2号で連番にする、また、80万円の現行予算が20万円ほど、超過する可能性があり、その場合は、予備費からの支出とする、という確認がなされた。

- ・ 名誉会員（2013年度の場合42名）からの任意の寄付制度

- ・ 繰越金約98万円が約135万円へ増加。13年度より会費7千円への増額と前納奨励の効果。全会一致で、承認された。

4) 会則の改定（別紙）田村昭彦会則改定検討委員長より提案。全会一致で、改訂が議決された。

5) 名誉会員の推薦 該当者なし。

6) その他 倫理綱領の策定を、会則改定委員長の田村昭彦理事に、検討を要請する発言があった。ヘルシンキ宣言の精神を踏まえ、宣言には触れられていない戦争への非協力を盛り込むべき、との発言があり、理事会で検討することとなった。

3. 報告事項

2015年（第56回）九州の久留米大学で開催を予定。2015年7月11日（土）～12日（日）

石竹次期学会長が挨拶した。2015年7月11日（土）～12日（日）に、久留米大学にて開催。

2016年（第57回）滋賀医大を中心に開催を検討。

埜田次々期学会長（予定）が、挨拶した。JR二条駅の駅前にある佛教大学二条キャンパス内での開催を予定。期日は、2016年7月30～31日、又は8月6～7日の土日を予定。

III. 2014年度奨励賞 学会長が選考し理事長が、青地ゆり、田口奈於、竹内真純、午頭潤子、藤森純子の5名に、賞状と記念品を贈呈した。受賞者は、社会医学研究に論文執筆することが督促された。